

**令和 3 年度
香川高等専門学校
単位互換科目履修案内**



令和3年度 香川高等専門学校単位互換科目について、下記のとおり募集します。

1 単位互換の制度について

香川大学と香川高等専門学校（以下「香川高専」といいます。）は、相互の交流と協力を促進し、教育内容の充実を図ることを目的として授業科目の単位互換協定を締結しています。

この協定により、香川大学の学生の皆さんが、香川高専の授業科目を履修し、そこで修得した単位を、香川大学が単位として認定するものです。

この制度により受け入れられた学生は、香川高専では「特別聴講学生」となります。

2 授業料について

この特別聴講学生については、検定料、入学料、授業料及び単位認定試験料の納付は必要ありません。

（ただし、実験・実習・実技等にかかる教材費等については、実費を徴収する場合があります。）

3 単位互換履修対象授業科目・受入人数・集合場所

履修対象授業科目は、別紙「シラバス」記載のとおりです。

受入人数は、若干名です。受講希望者多数（本校希望者含む）の場合は、受入できない場合がありますので、ご了承ください。

集合場所は、受講決定後、連絡します。

4 手続方法等

（1）受講者の資格

香川大学の学生で、香川大学が許可した方は、どなたでも受講の資格があります。

（2）履修期間

履修する授業科目の開講期間とします。

（3）履修手続

①「単位互換科目履修願」等の提出

履修を希望する科目について「単位互換科目履修願」及び「写真票」を下記期間内に香川大学へ提出して下さい。

提出期限 令和3年 4月16日（金）

②科目履修の許可

本校において、単位互換科目履修願により選考を行い、その結果を香川大学に連絡します。出願者へは香川大学から科目履修の許可が通知されます。

③特別聴講学生証

特別聴講学生は、本校が発行する特別聴講学生証の交付を受け、本校の施設・設備等を利用する際に携帯しなければなりません。

④履修の辞退

単位互換科目の履修許可を受けたものが、やむを得ない理由で履修を辞退する場合は香川大学を通じ辞退届を速やかに提出しなければなりません。

(4) 試験の実施方法

受験上の取扱い及び追試験の実施等については、本校学則等によります。
詳細は各科目担当教員の指示に従って下さい。

(5) 単位認定

本校の評価基準による成績通知に基づき、香川大学の授業科目の履修単位として認定
されます。
成績証明書は、原則として香川大学が発行します。

5 その他

(1) 本校の授業時間割について

1コマ	8 : 50 ~ 10 : 20
2コマ	10 : 30 ~ 12 : 00
3コマ	12 : 50 ~ 14 : 20
4コマ	14 : 30 ~ 16 : 00

この単位互換の実施についての詳細は、香川大学の担当窓口まで問い合わせして下さい。

アクセスマップ ACCESS MAP



詫間キャンパス アクセスルート

- JR 詫間駅からの交通
 - ・ 詫間駅前バス停留所より三豊市コミュニティバス「詫間線 大浜・名都戸行き」または「詫間三野線大浜行き」に乗り、約 20 分後、「香川高専前」バス停にて下車
- JR 岡山・児島駅からの交通
 - ・ JR 岡山駅から JR 詫間駅間、約 90 分
 - ・ JR 児島駅から JR 詫間駅間、約 60 分
- 通学のための最寄り駅からの距離
 - ・ JR 詫間駅から詫間キャンパス間、約 6km
- 高松自動車道からの交通
 - ・ (東方面よりお越しの場合) 三豊鳥居インターチェンジより約 20 分
 - ・ (西方面よりお越しの場合) さぬき豊中インターチェンジより約 30 分
- 高松空港からの交通
 - ・ 高松空港より車で約 60 分

詫間キャンパス

〒769-1192 香川県三豊市詫間町香田 551
TEL.0875-83-8506

高松キャンパス アクセスルート

- JR 高松駅からの交通
 - ・ JR 高松駅バスターミナル⑤番バス乗り場より「⑥由佐・空港行き」「⑥由佐・岩崎行き」「⑥池西・香南線湯行き」のいずれかに乗り、約 25 分後「小山」バス停にて下車、徒歩約 10 分
 - ・ JR 高松駅バスターミナル⑤番バス乗り場より「⑥栗林公園・御蔵・黒立プール行き」乗り、約 30 分後「香川高専前」バス停にて下車
- JR 岡山・児島駅からの交通
 - ・ JR 岡山駅から JR 高松駅間、約 60 分
 - ・ JR 児島駅から JR 高松駅間、約 30 分
- 通学のための最寄り駅からの距離
 - ・ JR 高松駅から高松キャンパス間、約 7km
 - ・ JR 栗林駅から高松キャンパス間、約 5km
 - ・ JR 篠原駅から高松キャンパス間、約 5km
 - ・ ⑤コトデン円座駅から高松キャンパス間、約 4km
- 高松自動車道からの交通
 - ・ (西方面よりお越しの場合) 高松西インターチェンジより約 7 分
 - ・ (東方面よりお越しの場合) 高松権紙インターチェンジより約 5 分
- 高松空港からの交通
 - ・ 高松空港より車で約 20 分

高松キャンパス

〒761-8058 香川県高松市勅使町 355
TEL.087-869-3811

香川高等専門学校単位互換科目履修願

令和 年 月 日

香川高等専門学校長 殿

下記のとおり貴校の授業科目を履修したいので出願します。

記

1. 出願者

所 属 大 学 学 籍 番 号		ふ り が な 氏 名		年 月 日 生	男・女
所 属 大 学 学部・学科等	学 部 学 科 第 学 年 次 大 学 科 課 程				
現 住 所	(〒 -)				
電 話 番 号			携 帯 電 話 (PHS)		
電 子 メ ー ル			※ 特別聴講学生 学 籍 番 号		

※過去(現在)本校において履修許可された者のみ記入して下さい

2. 出願科目等

開 設 学 科	学 科	担当教員		※ 科 目 コ ー ド	
科 目 名					
単 位 数		開講区分	前 期 ・ 後 期 ・ 通 年 ・ 集 中		
出 願 理 由					

※本校において記入します

3. 本校における他科目の出願状況等

今回出願する 科目を希望順 に記入	1	前期・後期・通年・集中			単位
	2	前期・後期・通年・集中			単位
	3	前期・後期・通年・集中			単位
	4	前期・後期・通年・集中			単位
現在受講中、 又は過去に受 講した科目を 新しい順に記 入	1	平成	年度	前期・後期・通年・集中	
	2	平成	年度	前期・後期・通年・集中	
	3	平成	年度	前期・後期・通年・集中	
	4	平成	年度	前期・後期・通年・集中	

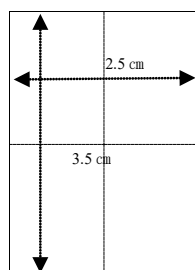
(注) この単位互換科目履修願は1科目について1枚提出して下さい。

これ以下は記入しないで下さい

審 査 結 果	許 可	不 許 可	学 籍 番 号	
推 薦 順 位 (高専序列)		推 薦 順 位 (科目序列)		

写真票 (特別聴講学生用)

写真票



※ 特別聴講学生学籍番号

--

※この欄は記入しないで下さい。

正面上半身のカラー写真を中心線に合わせて貼り付けて下さい。

所 属 大 学	
所 属 大 学 学 籍 番 号	

氏 名	
生 年 月 日	年 月 日生

複数科目を履修する場合でも1人、1部だけの提出で結構です。

香川高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	河川水文学
科目基礎情報						
科目番号	210423			科目区分	専門 / 選択	
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	建設環境工学科 (2018年度以前入学者)			対象学年	5	
開設期	前期			週時間数	2	
教科書/教材	河川工学 (川合 茂, 神田佳一, 和田 清, 鈴木正人著, コロナ社)					
担当教員	高橋 直己					
目的・到達目標						
河川工学, 水文学, および河川に関する水理の基本的事項を理解し, 基礎的な流出解析と河川に関する水理計算が行えるようになることを目標とする。 1. 流域、河川の作用、河川流、河口の水理に関する基礎事項を理解できる。相似則を用いた水理量の計算方法について説明できる。 2. 水循環、流出現象、河川構造物、河床変動、河川計画の基礎事項を理解できる。基礎的な流出解析手法について説明できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)	
流域、河川の作用、河川流、河口の水理に関する基礎事項を理解できる。相似則を用いた水理量の計算方法について説明できる。	流域、河川の作用、河川流、河口の水理に関する基礎事項を理解できる。相似則を用いた水理量の計算が行える。		流域、河川の作用、河川流、河口の水理に関する基礎事項を理解できる。相似則を用いた水理量の計算方法について説明できる。		流域、河川の作用、河川流、河口の水理に関する基礎事項を理解できない。相似則を用いた水理量の計算方法について説明できない。	
水循環、流出現象、河川構造物、河床変動、河川計画の基礎事項を理解できる。基礎的な流出解析手法について説明できる。	水循環、流出現象、河川構造物、河床変動、河川計画の基礎事項を理解できる。基礎的な流出解析が行える。		水循環、流出現象、河川構造物、河床変動、河川計画の基礎事項を理解できる。基礎的な流出解析手法について説明できる。		水循環、流出現象、河川構造物、河床変動、河川計画の基礎事項を理解できない。基礎的な流出解析手法について説明できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 B-2						
教育方法等						
概要	河川工学, 水文学, および河川に関する水理の基本的事項を理解し, 基礎的な流出解析と河川に関する水理計算が行えるようになることを目標とする。					
授業の進め方と授業内容・方法	授業動画をを用いた講義, 演習, 発表と議論を基本とする。授業動画では, 河川工学に関する画像・動画などをを用いて, 現場の様子を紹介する。					
注意点	・成績は, 受講確認課題への取り組みを20%, 中間レポートを15%, 期末試験を65%として評価する。					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容・方法		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業ガイダンス 河川整備目的の変遷		・水害の特性とその変遷, 近年の渇水状況と降水の変化, 日本及び世界の水資源の現況について理解している。 ・河川における生態系の保全と復元について理解している。 ・文明社会と河川の利用について理解している。	
		2週	河川と流域		・河川の管理と整備について説明できる。 ・河川の分類と流域について理解している。 ・河川における流れの作用と河道形状について理解している。	
		3週	河川と流域		・河川の管理と整備について説明できる。 ・河川の分類と流域について理解している。 ・河川における流れの作用と河道形状について理解している。	
		4週	河川の作用		・河川の管理と整備について説明できる。 ・河川の分類と流域について理解している。 ・河川における流れの作用と河道形状について理解している。	
		5週	相似則		・相似則にもとづく計算を行える。	
		6週	相似則		・相似則にもとづく計算を行える。	
		7週	水害		・情報収集を行い, 収集した情報をとりまとめることができる。	
		8週	河川流の1次元解析		・等流に関する水理量の計算が行える。	
	2ndQ	9週	中間レポート		・授業で学んだ内容を取りまとめて, 説明できる。	
		10週	河口の水理		・感潮河川について理解している。	
		11週	地球上の水の循環 流域平均雨量		・水の循環について理解している。 ・水文量の観測方法を説明でき, 流域平均雨量を計算できる。	
		12週	流出現象と流出解析手法1 (合理式, 単位図法)		・流出過程について理解している。 ・流出解析法について理解し, 基礎的な流出解析を行える。	
		13週	流出現象と流出解析手法1 (合理式, 単位図法) 流出現象と流出解析手法2 (タンクモデル)		・流出過程について理解している。 ・流出解析法について理解し, 基礎的な流出解析を行える。	
		14週	河床変動		・河床変動のメカニズムとスケールについて理解している。	

		15週	河川計画・河川構造物	・洪水防御計画、低水計画、砂防計画、環境保全計画などの、河川計画に関する基礎的な事項について理解している。 ・河川堤防・護岸・水制の役割について理解している。	
		16週	定期試験	・感潮河川について理解している。 ・水の循環について理解している。 ・流出過程について理解している。 ・水文量の観測方法を説明でき、流域平均雨量を計算できる。 ・流出解析法について理解し、基礎的な流出解析を行える。 ・河川堤防・護岸・水制の役割について理解している。 ・洪水防御計画、低水計画、砂防計画、環境保全計画などの、河川計画に関する基礎的な事項について理解している。	
評価割合					
		試験	受講確認課題	中間レポート	合計
総合評価割合		65	20	15	100
専門的能力		65	20	15	100

教室揭示用

※特別教室の表記のないものは、各HRで実施

建設棟・講義棟
[材実]: 材料実験室(1F)
[建ゼ]: ゼミナル室(3F)
[AL]: アクティブラーニング室(3F)
[2講]: 第二講義室(3F)